

□対応車型

競技専用品

車名、通称名		車両型式	
スバル インプレッサ		E-GC8	
年 式	エンジン型式	製品番号	
'92/10~'98/8	EJ20(T/C)	145-F001	

□構成内容

No.	パーツ名	サイズ	数量	No.	パーツ名	サイズ	数量
①	アペックスフロントパイプ	専用品	1	⑥	ボルト	M18×P1.5	1
②	ガスケット	P106×φ75	1	⑦	ボルト	M12×P1.25×L8	1
③	ボルト	M10×P1.25×L40	2	⑧	取扱説明書		1
④	ナット	M10×P1.25	2				
⑤	ワッシャ	M10用	4				

□GTspecフロントパイプの装着方法

- 右図を参照して、マフラーを装着し、各ボルトとナットの仮締付けを行ってください。
※右図のボルト、ナット、ワッシャは複数の場合省略してあります。すべて取付けてください。
- マフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら仮締付けしてあったボルトとナットを前側から順番に指定トルクで締付けてください。

締付けトルク

M10 45~55N・m(4.6~5.6 kgf・m) (純正スプリングボルト)

M12 46~59N・m(4.7~6.0 kgf・m) (付属ボルト)

※純正スプリング・ボルトの締付けは、左右均等に行ってください。

- テールパイプと車両側バンパの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合が発生した場合、最初から締めなおしてください。

⚠警告

特にブレーキ関係、燃料関係、駆動関係及び電気関係の配線とのクリアランスには、細心の注意を払ってください。

⚠注意

クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパの場合熱で溶けることがあります。

⚠注意

フロントパイプの取付けによって、ターボの最大過給圧が上がることがあります。過給圧が上がるとエンジンに破損の原因となりますので、フロントパイプ装着後は必ず過給圧の確認及び設定を行ってください。

□GTspecフロントパイプの装着状態の確認

- 全体の取付けが完了したら、再度マフラーを手で揺さぶり各部のクリアランスを確認してください。
- エンジンを始動して暖機し、約2,500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
- 試運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
- 4.1~3の項目に異常が発生した場合、面倒でも最初から装着をやりなおしてください。
- 取付け時から200km~300km走行後、各部に緩みが無い事を点検し、増締めを行ってください。

